



(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区靱本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2420円
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2026



創業昭和22年
保険・共済業界と
共に歩んで79年

神奈川代協横浜中支部 クラーク同士が意見を交換 第2回クラークサミットを開催



西支部長

神奈川代協横浜中支部(西信勝支部長)は2月10日、横浜市のロイヤルホールヨコハマで第2回クラークサミットを開催した。日頃交流を図る機会が少ない同支部所属の保険代理店のクラーク(事務スタッフ)たちが集い、交流を図りながら自社の取組みや業務面で

の悩みなどを話し合う同支部独自の意見交換の場で、昨年に続き2回目の開催となった。開会に先立ち挨拶した西支部長は「私が旧富士火災の直販社員をしていただくのは、事務スタッフのサポートを呼んでいただく。その後、事務スタッフの役割や業務内容が変わり、バックオフィスにはフロントオフィスと呼ばれるようになってきた。今行っている業務内容も3年後には大きく

変わっていくかもしれない。だからこそ、こうした情報交換を図っていくことがとても大事になってくる。こうした取組みが行えるのが代協のよいところだ」と述べた。当日は会員代理店の店主やクラークを中心に約30名が参加。いくつかのテーブルに分かれ、保険会社への要望や代理店のやりがいについて意見を交わした。参加者からは「保険会社はペーパーレ化を促してくるにもかかわらず、紙を使って事

務処理をしなければいけない業務が多々ある」「事務スタッフがしなげればならない仕事が増えている。対処策として事務スタッフの要望の声を吸い上げるような機能や制度を設けてもらいたい」といった業務に直結するような声もあがった。

ほかに「代理店として自己完結するように努めているうえで、それでも分からないことを確認しているのに、保険会社



意見交換の様子

からは型通りの通り一遍の回答しかあがってこない」「最近になって急激に保険会社の社員との対話の機会が減ってきているので、お互いに寄り添いあえず、保険会社への親しみが持てない」といった切実な声も聞かれた。ある参加者は「自分だけが抱えている困りごとだと思ったら、(同じテーブルの)ほかの人たちも同じように思っていたことが分かって、安心して話すと、こうした代理店を横断した意見交換の場ならではの意義を実感していた。

一時間弱の情報交換を終え、来賓で参加していたセブンスターズコンサルティングの佐々木篤史氏とHansson Onoコンサルティングの野元敏昭氏がそれぞれ挨拶。佐々木氏は「日頃、代理店向けの監査業務をしていると、代理店ごとにバックオフィス・フロントオフィスの人たちがするべき役割が変わってきていること、そして自社の戦略やあり方に依って工夫しながら仕事を進めていることを感じる。今後はさらに、こうした取組みが求められてくると思う」と述べた。

野元氏は「クラークの皆さんは、培ってきた高い専門性や人に対するやさしさをこれまで書類や業務プロセスのなかで活かしてきたと思うが、これからは直接お客さまに届けていくことが求められてくる。これがその地域の代理店にとっての大きな付加価値になってくるはずだ」と期待を込めた。